

小学校第6学年 社会科学習指導案(略案)【例】

1 単元名 大陸に学んだ国づくり 世界との関わりー東アジアと日本ー (教育出版社)

2 本時の学習 鞠智城から世界との関わりについて考えよう(単元のまとめ学習また発展学習)

3 めざす児童の姿 当時の人々も現在と同じように海外と活発に交流しており、その交流を通して発展してきたことを、身近にある鞠智城で学習し実感する。また、それらを知ることのできる文化財のよさに気づき、大切にしようとする心情を育てる。

4 本時の学習

① 本時の目標

○鞠智城にある出土文化財や遺構を調べ、海外とのつながりについて実感することができる。

○文化財の持つ意味について知り、文化財を大切にしようとする。

② 本時のながれ(90分)

時間	学習活動	指導上の留意点	準備物
15分	1 これまでの学習ふり返りと本時のめあてを知る。 【めあて】鞠智城の建物や出土文化財のヒミツを探ろう! 【学習課題】 これらの建物や出土文化財はどのようにして作られたのだろう。	・ これまでの学習を振り返り、大陸の文化を取り入れてきたことを思い出させるようにする。 ・大陸の文化を取り入れた痕跡を、鞠智城跡の復元建物や出土文化財から探し確かめることを伝える。	映像機器 これまでの学習内容及び鞠智城紹介スライド
40分	2 調べ学習をする。 ・ 個人またはグループごとに館内の展示や復元建物を調べ、ワークシートに記入する。 ・ 古代山城の築城・版築技術・銅像菩薩立像・瓦・木簡・八角形建物跡 など	・ 展示を自分(自分たち)のペースでゆっくり見学しながら繋がりを探しださせるようにする。 ・ グループで話し合い、館内・館外で主体的に学習を進めるように促す。 ・ 展示物についてわからないときは、学芸員や説明ボランティアに質問するように伝える。	ワークシート 分かりやすくするために、必要に応じ、つながりを示すものを別の場所にまとめて展示する。
15分	3 調べたことを発表とまとめ。 ・ 調べて分かったことや感じたことを、個人またはグループごとに発表する。 【まとめ】ヒミツとは、鞠智城も大陸の文化を取り入れてつくられていた!	・ それぞれの発表に対して、お返しの感想や質問をする時間を設けることで、発表内容をより深めるようにする。 ・ 映像機器を活用することで、視覚的にも発表内容が理解できるようにする。	ワークシート 映像機器
15分	4 学芸員の話聞く。 ・ 文化財の大事さについて学芸員の話聞く。	・ 当時の様子を知ることができる文化財のよさや、文化財を大切にすることについて話をすることで、文化財について考える機会とする。	映像機器
5分	5 本時の振り返りを行う。		ワークシート

※単元の導入に位置づけて学習することも可能です。